

1 日時 平成 26 年 10 月〇日 (〇)

2 学年 第 5 学年〇組

3 単元 情報化した社会とわたしたちの生活

小単元 「情報産業とわたしたちの暮らし ―新聞社の働き―」

4 小単元について

○ 本小単元は、小学校社会科学習指導要領 第 5 学年(4)の A の内容を基に設定した。

ここでは、我が国の情報産業や情報化した社会の様子を学習し、情報化の進展は、国民生活に大きな影響を及ぼしていることや情報の有効な活用が大切であることを考えることができるようにすることをねらいとしている。具体的には、日常の生活や産業における情報収集手段や情報の利用の様子を取り上げ、放送、新聞などの産業と国民生活とのかかわりを調べていく。そのために、近年の情報化の進展に伴い、テレビやラジオ、新聞、電話、コンピュータなど様々な情報手段が普及していることや、人々が日常の生活や産業活動において、必要な情報をどのように入手しどのように生かしているかなど、情報産業と国民生活とのかかわりを調べていく。また、マスメディアの働きや、それを通して送り出された情報が国民生活に大きく影響を及ぼしていることを調べ、情報を発信する側に求められる役割や責任の大きさ、情報を受け取る側の正しい判断の必要性などについて考えていく小単元である。

今回、情報手段の一つとして新聞を取り上げて学習していく。新聞は、近年の情報化の進展に伴い、コンピュータや携帯電話が普及する中でも、変わらず必要とされている。それは、情報化した社会の中でも、正確性やメッセージ性、または災害時の必要性など大きな役割があるからである。また、児童にとっては、身近なようであり活用されていないものでもあるため、改めて学習することで、情報のよさや情報の必要感、情報を発信する人々の思いなどを学ぶことができる教材であると考えている。

○ 本学級の児童の家庭が新聞を購読している割合は、7割程度である。しかし、新聞から情報を得ている児童はほとんどなく、主に、テレビや携帯端末から情報を得ている。新聞は、身近でありながらあまり活用されていない状況で、活字がたくさん並んでいる新聞についての関心はあまり高くないと言える。

また、社会科の授業については、ほとんどの児童が、考えることが多く難しいと感じている。魅力的な教材を示すことで、意欲的に学習し、資料を見て「分かること」を発言する児童が一部いるが、資料と資料を比較、関連付けて読み取ったり、また、資料と既習の知識と結び付けて考えたりする力は十分には育っていない。

○ 指導に当たっては、様々なメディアの中から、昔から地元根付いている中国新聞社を取り上げて学習する。中国新聞社は、ブロック紙を発行する新聞社で、広島県内普及率 46.76% (世帯数 1,247,501)、広島市内普及率 51.32% (世帯数 519,497) (2011 年 7-12 月平均 日本 ABC 協会調べ) である。また、市民の生活を豊かにすること、全国に平和な町を発信することなどをねらいと

して、フラワーフェスティバルや天皇杯全国都道府県対抗男子駅伝競走大会などのスポーツ事業や絵画展、音楽祭などの文化的事業も企画・運営している。

単元では、「様々な情報メディアがある中で、なぜ新聞は、昔から多くの方に読まれていて、今もなくなるのだろうか？新聞が多くの方に愛されている秘密を探ろう。」と、新聞の内容や新聞社の仕事などを具体的に調べていきたい。

また、中国新聞が原爆直後にも新聞を発行したことや、毎年8月6日に合わせて特集を組むことを調べ、情報を発信する新聞社の思いを読み取らせたい。さらに、一見、情報とは関係のない企画運営事業を調べ、その関連を既習の学習と比較しながら考えさせることで、情報を発信する新聞社の思いや願いを様々な視点で読み取らせたい。これらの学習を通して、社会的な見方・考え方の育成を図っていきたい。

5 小単元の目標

情報産業と国民生活とのかかわりについて、新聞をもとにして、資料を活用したり関係者から聞き取ったりして調べ、新聞の働きや新聞を通して送り出された情報が国民生活に大きな影響を及ぼしていることが分かり、情報産業の発展に関心をもつとともに、情報の有効な活用が大切であることを考えることができるようにする。

6 小単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
①新聞に関心を持ち、意欲的に調べようとしている。	①新聞と国民生活とのかかわりについて、学習問題や予想、学習計画を立て、表現している。	①資料を収集し、必要な情報を読み取っている。	①新聞社が多種多様な情報を収集・選択・加工して提供している様子について理解している。
②情報産業の発展に関心を持ち、情報を有効に活用することの大切さを考えようとしている。	②新聞は、国民生活（広島市民）に大きな影響を及ぼしていることや情報の有効活用が大切なことを考え、表現している。	②新聞の働きや役割について、調べたことをまとめている。	②新聞と国民生活を関連付けて、新聞社（発信者）の意図や責任、読み手（受け手）の正しい判断が必要なこと（意味）を理解している。

7 小単元の学習過程

過程	ねらい	主な学習活動と内容	■教師の働きかけ □評価 ☆資料
社会認識を育てる場	自分たちの生活の中で、情報を利用していることを調べ、情報について関心を持ち、学習計画を立てる。	①身の回りにおける様々な情報とその活用、様々なメディアの特徴について話し合い、学習問題から学習計画を立てる。 わたしたちは、どのような情報に囲まれているのだろう。 ・テレビ ・ラジオ ・新聞 ・インターネット ・雑誌	■教師の働きかけ □評価 ☆資料 ■「明日の天気についての情報を得るためにどのメディアを用いるか。」を問い、それぞれのメディアの特徴に気付くことができるようにする。 □身の回りにおけるメディアに関心を持ち、自分の生活とのかかわりで調べることを考え、表現しているか。 [関①思①：ノートへの記述，発言内容] ☆様々なメディアの天気予報 ☆様々なメディア比較表 ☆日本の新聞発行部数の変化(資料集98ページ)
	【学習問題】多くの情報手段ができていの中で、なぜ、新聞は読まれているのだろう。		
ふかめる	新聞には、社会・文化・政治・経済など多種多様な情報が掲載されていることをとらえることができる。	②新聞記事を調べ、様々な情報が掲載されていることを調べる。 新聞には、どのような情報が載っているのだろう。 ・テレビ欄 ・事件・政治 ・経済・スポーツ ・4コマ漫画 ・広告・お悔やみ欄 ・地域ごとのニュース ・教育・芸能界 ・週刊誌の案内など	■1日分の新聞記事を分類させることで、多種多様な記事が掲載されていることに気付かせる。 □新聞記事にある天気予報、スポーツ、政治、事件など、多種多様な情報を読み取っているか。 [技①：発言内容，ノートへの記述] ☆各家庭で読まれている新聞紙1日分（中国新聞、朝日新聞、読売新聞など）
	新聞は、多種多様な情報を取材・編	③新聞ができるまでの過程や作業を分担	

新聞は、どのようにつくられているのだろう。

<p>集などの作業を経てつくられていることが分かる。</p>	<p>し、協力してつくられていることを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取材 ・会議 ・編制 ・大刷り ・校閲 ・印刷 ・販売店、配達 	<p>■「新聞がとどくまで」を調べることで、新聞作成の工夫に気付かせる。</p> <p>□新聞社は、多種多様な情報を収集・選択・加工して新聞を作成していることを理解しているか。[知①：ノートへの記述]</p> <p>☆資料集 98・99 ページ</p> <p>☆ちゅーピーパーク「中国新聞印刷工場」</p> <p>☆DVD「中国新聞ができるまで」</p>
<p>情報を送る側と情報を受け取る側、それぞれが気を付けることについて分かる。</p>	<p>④新聞内容の違いを調べ、情報を発信する側の役割と受け取る側の判断について考え、話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">新聞記事の違いを比べよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・1面の写真が似ている。 ・写真や写真の枚数が違う。 ・見出しが違うということは、伝えたい内容が違う。 ・新聞社によって内容が違う。 ・同じ8月6日を扱っていても、新聞社の伝える内容が少しずつ違っているから、読む人は、そのことを知っていないといけない。 	<p>■8月7日の新聞記事を読み比べることで、中国新聞社が平和への思いや地域に根ざした情報を発信していることに気付かせる。</p> <p>□情報を発信する側の役割や、情報を受け取る側が、自分で情報について判断することの大切さについて理解しているか。</p> <p>[知②：発言内容，ノートへの記述]</p> <p>☆平成26年8月7日朝刊 中国新聞，朝日新聞，読売新聞</p>
<p>被爆3日後の8月9日に新聞が発行された様子を調べ、中国新聞社の人々の思いを考察することができる。</p>	<p>⑤中国新聞社の人々は、被爆後、何もないうちで、なぜ、新聞を発行したのかを考え、話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">なぜ、新聞を発行することができたのか。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・いざという時のために他社と提携を結 	<p>■新聞社は、「速く、正確に情報を伝える」ことを振り返り、被爆後は「速く、正確に情報を伝</p>

		<p>んでいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな状況でも新聞を発行できる用意をしていた。 ・被爆した社員が、新聞を発行するために必死に情報がつながっている字品まで歩いた。 ・翌日、広島駅に届いた新聞を販売した。 ・しかし、広島に原子爆弾が落とされたことは小さな記事にしかならなかった。 	<p>える」状況ではなかったことをつかませる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■中国新聞社が被爆3日後に新聞を発行した理由を考えることで、中国新聞社の情報を伝えるだけではない思い（使命感）に気付かせる。 ■その新聞を見た時の当時の人々の気持ちを考えさせることを通して、情報が国民生活と大きく関係していることに気付かせる。 <p>□中国新聞社が、被爆3日後に新聞を発行したことから、情報を必要としている人のために、新聞社が使命感をもって新聞を発行したことを考え表現しているか。</p> <p>[思②：ノートへの記述]</p> <p>☆写真「被爆前の中国新聞社」「被爆後の中国新聞本社」</p> <p>☆昭和20年8月9日の中国新聞コピー</p> <p>☆被爆3日後に発行されるまでの作業を時系列にまとめたもの</p>
	<p>新聞社が企画運営を行っている事業について調べ、新聞社の仕事に関心をもつ。</p>	<p>⑥中国新聞社は、新聞を発行するだけでなく、企画運営事業を行っていることを調べ、その事業について話し合う。</p>	
	<p>新聞社の企画運営事業は、情報を発信する時と同じで、地域の特色の発信や発展に</p>	<p>⑦新聞社の企画運営事業は、地域の特色の発信や発展に力を尽くしていることを考え、話し合う。</p>	

中国新聞社の企画運営事業について調べよう。

- ・主な企画運営事業
- ・フラワーフェスティバル
- ・全国都道府県男子駅伝
- ・平和マラソン
- ・各種コンクール（ピアノ、絵画、バレエ等）
- ・年間約300近く

■中国新聞社が企画運営を行っている様々な事業を調べることで、情報を伝えるだけにとどまらない地方新聞社の仕事に「なぜ?」「もっと調べたい。」という疑問や関心をもたせるようにする。

□新聞社が企画運営する事業を調べることができたか。また、情報を発信する新聞社が行う企画運営事業に関心をもつことができたか。

[技②関②：発言内容、ノートへの記述]

☆中国新聞社主催のパンフレット

☆中国新聞社主催のイベント一覧

なぜ、新聞社は、企画運営事業を行っているのだろう。

		<p>貢献していることを考え、話し合うことができる。 (本時)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・広島市が盛り上がる。 ・県外からも多くのお客さんが来る。 ・広島が平和になったことがよく分かる。 ・情報を発信する時も、広島を元気にすると いう思い(使命感)だったが、これも同じ思い(使命感)で行っている。 	<p>■フラワーフェスティバルを行う理由を考えることで、新聞社は、情報を伝える仕事だけではなく、市民に大きな影響を与えることができる「情報」のはたらきを生かして、企画運営をしていることに気付くことができるようにする。</p> <p>■これまでの学習(速く、正確に、地域のニーズに合わせて、送り手の責任、受け手の判断、大きな影響を与える)と結び付けて考えさせることで、地方新聞社は、地域の特色の発信や発展に力を尽くしていることを考えることができるようにする。</p> <p>□新聞社が、企画運営事業を行っている理由について、情報を発信する時の思い(地域の発展、地域の特色の発信)と関連させて、考え、表現しているか。</p> <p>[思②: 発言内容, ノートへの記述]</p> <p>☆5月3, 4, 5日に出された「特報」</p>
実践的な力を育てる場	い	<p>既習内容を生かし、新聞のよさや新聞とのつきあい方を、自分とのかかわりで考え、表現することができる。</p>	<p>⑧新聞のよさ、新聞とのつきあい方を自分とのかかわりで考え、表現することができる。</p>	<p>なぜ、新聞なのだろうか。</p> <p>■第1時で学習したように他のメディアと再度比較することで、新たに新聞のよさに気付くことができるようにする。</p> <p>■「自分」とのかかわりで今までの学習を振り返ることで、新聞を身近に感じながら、学習のまとめをさせる。</p> <p>□新聞のよさ、新聞とのつきあい方を自分とのかかわりで考え、「ミニ新聞」に表現することができるか。[思②: ノートへの記述]</p>

8 本時の目標

新聞社が企画運営しているフラワーフェスティバルについて調べ、情報を発信する時の思い(地域の発展、地域の特色の発信)と関連させて考え、話し合うことができる。

9 本時の学習展開

学習活動・内容	■教師の働きかけ □評価 ☆準備物
---------	-------------------

<p>1 新聞について振り返る。</p> <p>2 本時の「学習課題」を確認する。</p>	<p>■これまでの新聞の学習と前時の企画運営事業を振り返り、本時の「学習課題」を確認できるようにする。</p>
<p>なぜ、中国新聞社は、企画運営事業を行っているのだろう。</p>	
<p>3 本時の「学習課題」に対する予想を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事に載せるため。 ・新聞社の宣伝のため。 ・もうけがあるから。 ・広島市が盛り上がるため。 ・なぜか分からない。新聞を作って情報を発信していればいいのに。 ・何かよいことがあるのかもしれない。 <p>4 資料を読み取る。</p> <p>○どんな祭りか。</p> <p>○どのような様子か。</p> <p>(フラワーフェスティバルについて知っていること、資料を見て気がついたことを発表する。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しそう。 ・多くの人に参加している。 ・異年齢、老若男女問わず交流している。 ・広島だけではない。福島とかの人も参加している。 ・ふれあえる。 ・パレードに参加している人が元気。 ・パレードでなくても、楽しんでいる。 <p>5 フラワーフェスティバルを企画・運営している理由を再度考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島市民の元気な姿が見られる。 ・福島の人や老若男女が交流していて、みんなの祭りになっている。 ・広島が盛り上がっている。 ・平和を伝えようとしている。 ・復興した今の広島が分かる。 ・参加者＝読者 <p>6 なぜ中国新聞社が行うのか考える。</p>	<p>■前時に学習した新聞社の多種多様な企画運営事業を思い出すことで予想を立てることができるようにする。</p> <p>■企画運営事業として、新聞社が企画運営し、児童にとって身近な存在の「フラワーフェスティバル」を取り上げることで、児童とのかかわりで考えられるようにする。</p> <p>■「特報」記事の写真から、フラワーフェスティバルがどのような様子か読み取ることで、新聞社が、企画運営事業をしている理由を考えさせる。</p> <p>☆写真（平成26年5月3, 4, 5日「特報」中国新聞社発行）</p> <p>■「なぜ、フラワーフェスティバルを行っているの？」を考え、企画運営事業を行う理由を確認する。</p> <p>■「フラワーフェスティバルがなかったらどうか。」「フラワーフェスティバルがあることで、広島はどんな町になっているか。」と切り返し発問を用意する。</p> <p>■新聞社が心がけていること（速く、正確に情報を伝えるこ</p>

<p>・企画運営事業を運営する思いと新聞を発行する思いは同じだ！</p> <p>7 本時の「学習課題」に対する「学習のまとめ」をする。</p>	<p>と)を確認する。</p> <p>■中国新聞社の思い（広島発展を願って情報を届ける）を確認する。</p> <p>■フラワーフェスティバルを運営する思い（広島を元気な町にする。平和な町をアピールする）を確認する。</p> <p>■新聞を発行する思いとフラワーフェスティバルを運営する思いが同じであることに気付くことができるよう、構造的な板書を行う。</p> <p>□新聞社が企画運営事業を行っている理由について、情報を発信する時の思い（地域の発展、地域の特色の発信）と関連させて、考え表現しているか。</p> <p>[思②：発言内容、ノートへの記述]</p> <p>■学習課題に対する、「まとめ」「感想」を書くことができるように、再度「なぜ、中国新聞社は、企画運営事業（フラワーフェスティバル）を行っているのだろう。」を問う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【B 評価の子どもの姿】</p> <p>・地方新聞社は、<u>情報を発信する時と同じで</u>、</p> <p>① 広島が元気な町になってほしいという願い、</p> <p>② 広島が平和な町であることをアピールする使命感で、企画運営事業を行っています。 等</p> </div>
---	---

10 参考資料（出典）

- 『中国新聞百年史』 中国新聞社史編さん室 編（中国新聞社）
- 『信頼』 山本 朗 著（中国新聞社）
- 『創刊 120 周年記念 1945 原爆と中国新聞』 中国新聞社 編（中国新聞社）
- 『DVD 創刊 120 周年記念 1945 原爆と中国新聞』 中国新聞社 編（中国新聞社）
- 『DYD 中国新聞最近二十年史』 中国新聞社経営企画局 編（中国新聞社）
- 『新聞業界の動向とカラクリがよ〜く分かる本』 秋山 謙一郎 著（秀和システム）